

令和6年度 第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会 議事録

1 日時

令和6年6月7日(金) 午前9時30分～午後4時10分

2 場所

吹田さんくす3番館 4階 教育委員室

3 出席委員

委員長	吹田市立小学校校長
副委員長	公認会計士
委員	吹田市PTA協議会代表者
	吹田市立小学校教頭
	吹田市立小学校栄養教諭

4 次第

- (1) 財務関係説明
- (2) プレゼンテーション（7事業者）
- (3) 評価点集計
- (4) 協議（事業者選定）

5 議事概要

以下のとおり

○**委員長** これより第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会を開催する。
本日のスケジュールの流れについて事務局に説明を求める。

○**事務局** まず、参加事業者数と選考方式について説明する。今回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定に応募した事業者は8者であり、辞退した事業者が1者あったため、本日のプロポーザル参加事業者は7者となっている。

次に選考方式について説明する。各事業者のプレゼンテーションの時間は、提案説明が

15 分、質疑応答が 15 分の合計 30 分間である。委員は事業者からの提案説明後、提案説明や提案書の内容についての質疑を事業者に対して行うことになる。

それぞれの事業者のプレゼンテーション開始前に事務局より評価基準書を配布する。質疑応答が終了次第、評価基準書に点数の記入をお願いする。

事業者の評価については、第 1 回事業者選定委員会において、プロポーザルの評価の基準を提示することになっていた。それが、「評価基準書の配点基準」という書類なので評価の際、参考にさせていただきたい。

評価基準書の評価項目のうち「職員配置」の①～④及び⑥については、あらかじめ事務局で内容を確認し、点数化をしている。これを参考に委員が独自に点数を記入し、場合によってはそのままの点数を採用することを可としている。

なお、「職員配置」の⑤アレルギー除去食等個別対応の人員については、提案書等に記載がないため、提案内容を考慮し、委員が独自で点数を記入することになる。

それ以外にも提案書の中で不明瞭な点があり、点数をつけられない箇所がある。

具体的には D 者については千里新田小学校の正規職員の配置人数が仕様書では 4 人と定めているところ、提案書には 3 人となっている。

E 者については千里新田小学校の 4 人目の正規職員及び北山田小学校の 3 人目の正規職員の経験年数が示されていない。仕様書では 2 年以上の経験者を配置することとなっている。

F 者については正規職員として勤務する責任者及び副責任者以外の 3・4 人目の資格が記載されていない。

以上の点に関しては、採点にも関わる内容であるため、委員の皆様に質問していただきたい。

また、「企業の財務状況」については、あらかじめ公認会計士がそれぞれの事業者の評価の点数をつけている。

これらの点数を 7 者のプレゼンテーション終了後に委員に提示するので、それを参考にして評価基準書への記入をお願いする。

次に、評価基準書に記入した点数を採点表に転記するようお願いする。

委員の採点後、採点表を事務局が回収し、点数の集計作業を行う。委員全員の評価点から価格点を除いた合計点数が 6 割以上であることが採択の対象となる。

そのため、価格点に当たる「提案金額」の点数（25 点）を評価点の合計（180 点）から差し引いた点数（155 点）が 1 名分の点数となる。そこから 5 名分を乗じた合計点数（775 点）の 6 割は 465 点となり、465 点以上が採択の対象となる。

○委員長 今回の説明について、質問はあるか。

(発言なし)

プレゼンテーションに先立ち、決算関係書類の説明を副委員長から行う。

○副委員長 各者の財務状況について説明をする。

(財務状況の説明) 非公開

○委員長 財務状況の説明について、質問はあるか。

(発言なし)

次に、プレゼンテーションに移る。

(A・B・C・D・E・F・G 者にプレゼンテーション及び質疑応答実施) 非公開

(採点表集計及び集計結果発表)

○事務局 各委員の採点を一覧表示する。各自採点に誤りがないか確認をお願いする。

(誤りなしと確認)

全者とも各委員の合計点数が 465 点を上回っているため、採択の対象となる。集計結果では、1 位と順位付けした委員数が最も多い B 者が最優秀提案者である。B 者の希望調査表では 2 校受託希望しており、希望校である吹田南小学校と北山田小学校の最優秀提案者となる。その次に 1 位と順位付けした委員数が多い事業者が同率であるため、2 位と順位付けした委員数が多い事業者を選んでいく。2 位と順位付けした委員数が多い事業者は E 者であり、希望調査表では 2 校受託希望しているが、北山田小学校は B 者に決まっているので、千里新田小学校の最優秀提案者となる。また、豊津第一小学校を希望しているのは A 者のみ、千里たけみ小学校を希望しているのは G 者のみであり、それぞれの学校の最優秀提案者となる。

○**委員長** 選定結果について事務局の説明のとおり決定してよいか。

(「異議なし」と呼ぶものあり)

それでは、A者を豊津第一小学校、B者を吹田南小学校及び北山田小学校、E者を千里新田小学校、G者を千里たけみ小学校の最優秀提案者と決定する。

○**事務局** 選定結果に基づいて、各校の最優秀提案者に対して契約事務を進めていく。

○**委員長** 議事が終了したので、これをもって第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会を終了する。